

令和3年度重点要望事項と回答

要望事項	市教委の回答
<p>7. 学力テストや教材購入等、保護者の私費負担軽減のための予算措置</p> <p>各小学校では、長期休業中に補助教材として夏冬休み帳などを作成し、「学力向上」「自ら学ぶ姿勢の醸成」を行っています。</p> <p>しかし、学校で作成する場合に、著作権法の関係から教材（課題）の選定にとっても苦慮し、膨大な時間と負担を強いられているのが現状です。そのため、民間業者の教材を購入する以外に方法はなく、保護者の私費負担がとて大きくくなっています。以上のことから、教材関係機関からの教材（課題）の提供や作成、もしくは購入についての公費負担に対する予算措置を要望いたします。</p> <p>各中学校では、北海道教育文化協会で作成・販売する学力テストを保護者の私費負担で購入し、授業の中で実施しています。「学力向上」はもちろんのこと、「進路選択」のための指標として、各学校により回数は異なりますが必ず実施せざる得ない状況であり、保護者の私費負担も大きなものとなっています。「学力向上」や「進路選択」のうえでもとても重要な取り組みとなっていることから、最低1回分の公費化を要望いたします。</p>	<p>保護者負担の軽減については、経済的な理由により学用品費等の私費負担が困難な世帯に対し、就学援助費を支給しているほか、スキー学習に係るバスの借り上げ料について、その一部を助成するなど取組を行っているところです。</p> <p>今後も社会情勢や管内の状況を参考にしながら、保護者負担がより少なくなるよう努めます。</p>
<p>8, 校内放送設備のデジタル放送対応への更新について</p> <p>設置しているTVモニターや電子黒板がデジタル対応のために、既存の校内放送設備を使った映像放送が放映できない状況の学校が多く存在します。GIGAスクールに対応していくこと、ICT機器の活用の充実を図ること、また学校行事におけるコロナウイルス対応により、三密を防ぐことから喫緊の課題となりますので、アナログ映像放送設備の学校のデジタル化とデジタル放送用の機材の整備に関する予算措置を要望します。</p>	<p>デジタル非対応の学校のうち、電子黒板導入校については、令和2年度中にアナログ映像放送設備にデジタル変調器を整備することでデジタル化を完了しております。</p>

<p>9. 「学校における働き方改革」推進のために 現在、市内ほとんどの学校で、校舎内のポリッシャーやワックスがけについては、市の管理運営費より作業員の賃金が措置されていますが、日数が不足していたり作業員の応募が少ないことから、長期休業等を利用して学校職員で行っているのが現状です。</p> <p>「働き方改革」に関する通知でも触れられていますが、これは教職員の業務ではないとされています。また、この業務のために本来すべき業務が滞っている現状があることから、ワックスがけのための予算の弾力的運用・活用（非常勤職員採用の予算増額、外部委託も含む）をすすめる予算措置を要望します。</p> <p>現在使用している転送電話システムは、「働き方改革」「時間外勤務縮減」を進める有効な手立ての一つとされています。現状使用されているボイスワープというシステムは、転送の開始及び解除を毎日手動で行わなければなりません。また、転送中か否かの確認を目で見ることができないという不便さを教職員も感じています。このような現状から、転送開始及び解除のオートセット機能など、より効果的に働き方改革推進につながる転送電話システムの導入並びに使用機材の更新を要望します。</p>	<p>学校における働き方改革を推進するため、校舎内のワックスがけ作業員賃金を継続して予算計上し、今後も必要に応じて予算の増額を検討します。</p> <p>業務時間外における学校への着信電話を教育委員会に設置する電話音声応答装置に転送するシステム（ボイスワープ）については、毎日の転送開始、停止の作業での不便さはあるかと存じますが、業務時間削減への一定の効果はあるものと考えております。また、現行機種によるオートセット機能は、各校ごとの行事等のスケジュールに合わせ、学校で設定が必要となるものであり、各校における課題に対し、大きな改善が図れるとはいえないこと、また新たな機器導入費用も発生するなど、課題もあるため、管内他市の状況などを注視しながら、現行のシステム以上に効果が期待できる手法等を模索します。</p>
<p>10. 学校における印刷環境を整備するための予算措置について（新規）</p> <p>現在、学校教育を取り巻く環境は ICT 機器の活用が通常となるなど、以前とは大きく変化しています。</p> <p>その中でも、カラー印刷については、児童生徒に学習への関心意欲を向上させ、理解の手助けに</p>	<p>ランニングコストの安いカラー印刷機能付多機能複合機等の導入については、現状、各校へモノクロ複合機等をリースで設置しておりますが、これ</p>

<p>なるなど学習において非常に効果を上げています。</p> <p>また、保護者地域への学校だよりなどの情報発信にも使用されることで、学習運営上、地域との連携や学校への理解を深めていただくことにも大きく影響を与えています。</p> <p>現状では前述のような効果を上げるため、各学校に配分された予算の中で月額制のカラープリンターを導入するなどの対策をとっています。しかし、このシステムの値上げにより、学校単体の予算では対応できず、今後使用できなくなる可能性が出てきています。</p> <p>また、教職員の働き方改革の面からみると、「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策（答申）」の中でも、多機能の複合機等を整備することにより、業務の効率化や負担軽減への効果が期待できるとされています。</p> <p>児童生徒の学習環境のため、学校運営のため、教職員の働き方改革を推進するためにも、印刷環境については、学校単体ではなく石狩市の学校全体で、カラー印刷対応帳合までできる複合機の整備を強く希望します。</p> <p>当面の対応策として、以下の4点についてお願いいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校に配分される管理需用費の増額 2. 令和3年度の教職員用PC更新時に職員室のレーザープリンタをランニングコストの安いカラー印刷対応に変更する。その後のFAX、コピー機、印刷機の更新については希望校のみ行うこととする。 3. 複合機等をリースした場合は、学校配分管理需用費の負担にならないよう、1枚あたりの単価は0.7円を上回らないようにする。 4. 印刷機、PC等年度計画で更新が決まっているものについてはより有効に活用するため、導入前に学校と協議を持っていただきたい。 	<p>までと同様に直近リース期限を迎える2~3校を対象としたリース更新では、ランニングコスト軽減に至らないことから、多くの学校でリース期限が満了する令和5年度末に、全校一斉の機器を更新することでコストメリットを図ります。</p>
<p>11, 電波法関連法令改正によるワイヤレスマイクの更新について</p> <p>電波法関連法令である無線設備規制の改正により、旧規格の特定小電力無線機器が2022年11月30日をもって使用できなくなります。これは、各学校で学校運営に幅広く使われているワイヤ</p>	<p>2022年11月30日をもって使用できなくなる旧規格の特定小電力無線機器については、各学校において、新規格の機器をすでに配分子算や「学校保健特別対策事業費補助金（学校再開に伴う感染</p>

<p>レスマイクも対象となります。もし、期限以降旧規格の機器を使用した場合は、電波法違反となるため、新規格への買い替えが必要となります。</p> <p>市内各学校の状況を調査した結果、全く使用できなくなる学校が5校、50パーセント以上使用できなくなる学校が10校と、市内ほとんどの学校で旧規格のワイヤレスマイクを所持しています。緊急を要する案件ですが、配分されている予算では対応がむずかしい学校もありますので、予算措置をお願いします。</p>	<p>症対策・学習保障等に関する支援事業)」を活用し購入いただいていることから、来年度以降は、配分予算での対応をご検討願います。</p>
<p>12. 職員玄関オートロックの設置と外部開錠機能の追加について</p> <p>市内の大部分の学校では職員玄関のオートロック化が行われていますが、浜益小学校と浜益中学校には未設置のままとなっています。不審者対策のことから早急な整備をお願いします。</p> <p>また、設置されている学校におきましても、暗証番号等で外部から開錠できる機能が備わっていないため、グラウンドや校舎外で学習を行った後、校内へ戻る際にその都度職員室を呼び出してから開錠が必要で、特に大規模校においてそれに対応する職員が煩雑になっている現状があります。他市町村においてはその機能を有している学校もあることから、外部より開錠可能な機能を追加していただけるようよろしくお願いします。</p>	<p>浜益小学校、浜益中学校における職員玄関のオートロック化については、不審者対策として必要に応じて導入を検討します。</p> <p>なお、現状、暗証番号による開錠機能については、暗証番号の流出等セキュリティ面に課題があると考えますことから、導入予定はありませんので、ご理解のほど、よろしくご願ひ致します。</p>
<p>13. 新JIS規格椅子の全校整備と修繕に関する予算措置について</p> <p>子どもたちが使用している教科書がB5版からA4版に変更され、学習に使用する資料やノートもA4版になってきております。子ども達が学習に集中し、学習しやすい環境を整備するためにも、新JISの机・椅子を未整備校に早急に整備すると同時に、座面や溶接部分の破損に伴う修理の費用の予算措置を要望します。</p>	<p>未整備校における整備については、段階的に進められるよう予算措置に努めます。また、修理費等については、継続して予算計上します。</p>